



国際ロータリー第 2790 地区第 5 グループ  
2025-26 年度 第 16 回例会 (通算第 2706 回) 週報  
2025 年 11 月 26 日 (水)

出席

会員 44 名 出席 26 名 欠席 18 名  
出席率 65% (26/40)  
修正前出席率 73.80%  
修正後出席率 80.95%

欠席者【敬称略】

石井・内田(愼)・江崎・金見・倉島・小島・嶋津・四宮・  
鈴木(秀)・鶴岡・林田・堀内・渡邊(元)・渡邊(愼)

メイクアップ【敬称略】

11/21 勝浦 RC (卓話)  
堀内  
11/21 2790 地区ロータリー財団統括委員会  
堀内  
10/30 富津中央 RC  
小林(千)・小林(裕)

◆四つのテスト

坂井健治会員



◆私の記念日祝い

安川隆会員(11/17)  
大隅義一会員(11/23)  
豊田文智会員(11/23)

◆会長挨拶・報告

吉田和義会長



皆さま、本日は11月第3回例会にご出席いただきありがとうございます。  
とございます。

まずは前回例会から本日までのご報告です。11月19日に  
BIG&Rの本年度第1回幹事会が開催されました。ボーイスカ

例会

■司会進行

S.A.A. 大里光夫委員長



◆点鐘

吉田和義会長

◆Rソング斉唱

「手に手つないで」

会 長	吉 田 和 義
幹 事	倉 島 和 広
会報・IT 活用委員会委員長	阪 中 昌 司
副委員長	大 岩 も え

RI 会長	フランチェスコ・アレツォ
ガバナー	時 田 清 次
ガバナー補佐	渡 邊 愼 司

ウトの第2団から高橋さん、第3団からサカイさん、ガールスカウト第14団田中さん、インターアクト顧問の米本先生にお越しいただき、意見交換をいたしました。以上がご報告になります。

さて先日、私は息子と神田ヘスキーウェアを買いに出かけました。ところが——あれ？あのスポーツショップ街はどこへ行ってしまったのでしょうか。まるで雪解けのように消えてしまい、残っているのはわずか。

人によっては神田・お茶の水は楽器の街であったり、古書店街であったり大型書店街であったりと別々の顔を持つ街ではあったのですが、大型書店も無くなったりしています。

娘のスキーウェアを買いに数年おきに神田には行っていましたが2年前に自分の板とブーツを買いに行った時には、まだ馴染みの店が結構頑張っていたのですが、この2年でだいぶ入れ替わっていました。

ビクトリア本店がかろうじて残っている感じですが店内は6割が外国人客。日本人客は昔から継続している中高年が多い感じです。中高年なので、レジでポイントアプリに四苦八苦。1～2年前に登録した会員IDのパスワードが分からなくて、再登録をしていたのは自分だけでは無かったです。昔を知っていると思いき自分より年下ファミリーのお父さんは、アルペンは無くなったのか？と言っていました。ちなみにアルペンはスポーツデポに、ビクトリアはゼビオグループに衣替えしています。

さらに驚いたのは、お昼に立ち寄った丸亀製麺。店員が外国人なのはどこでも普通ですが、麺を打っていたのは外国人の職人さん。見事な手さばきで麺を伸ばす姿に、「ああ、うども国際化の時代だな」と思わず笑ってしまいました。

この体験から感じたのは、世の中の変化は本当に早いということです。街の風景も、人の流れも、働く人の顔ぶれも、数年前とはすっかり違う。私たちロータリーも、こうした変化に取り残されないようにしなければなりません。

ロータリーの理念は不変ですが、その実践方法は時代に合わせて変えていく必要があります。神田の街で感じた「変化の風」を、私たちの活動にも取り入れていきましょう。

以上、挨拶ならびにご報告とさせていただきます。

#### ◆幹事報告

佐藤優希副幹事



#### 1. 幹事報告

- 1) 米山奨学会及びR財団への寄付金については、11月25日(火)付けにて送金手続きをさせていただきました。R財団に関しては25日以降は12月レートとなりますのでレート確認を事務局までお願いいたします。

現在の寄付額は、

R財団 341,000円

米山 420,000円

となっております。御協力ありがとうございました。

#### 2. 他クラブからのお知らせ

なし

#### 3. その他のお知らせ

- 1) 木更津市国際交流協会事務局より、KIFAメールつうしん「2025年11月号」が届いておりますので回覧いたします。

#### 4. 回覧

- ・ガバナー事務所より「MCR レポート等」
- ・木更津市国際交流協会事務局より KIFA メールつうしん

#### ◆委員会報告

◇次年度役員及び理事候補者の発表

指名委員会 青木和義委員長



木更津東ロータリークラブ細則第9条により、2025年11月12日(水)に指名委員会が開催されました。指名委員会は同細則により、会長、会長エレクト及び会長の指名する5名の会長経験者により構成されると定められており、私が委員長に互選されました。細則では「指名委員会は、副会長・会計・副幹事及びその他の5名の理事について候補者を指名し、年次総会1週間前の例会において発表する」旨、定められておりますので、以下のとおり候補者を指名、発表いたします。

役職名	候補者氏名
副会長	小林千晃 <small>こばやしちあき</small>
会計	叶川博章 <small>かのがわひろあき</small>
副幹事	松岡邦佳 <small>まつおかくによし</small>
理事	加藤智生 <small>かとうともお</small>
理事	堀内まさと <small>ほりうちまさと</small>
理事	石井文子 <small>いしいあやこ</small>
理事	江崎勝博 <small>えさきかつひろ</small>

理事 うちだしんいちろう  
内田慎一郎

本日発表した候補者は、12月3日(水)の例会時の年次総会において採決により決定されることとなっております。

なお、既に決まっているその他の役員は次のとおりです。

役職名	候補者氏名
会長	いしだとおる 石田亨
直前会長	よしだかずよし 吉田和義
会長エレクト	つるおかだいじ 鶴岡大治
幹事	さとうゆうき 佐藤優希

以上です。

◆ニコニコボックス報告 親睦出席委員会 藤田洋行会員



○大隅義一会員

ロータリー生活53年間大変お世話になりました。大里さん、遠山さん、親切にいただきありがとうございます。本日で退会しますがどこで会ってもやあと云いましょう。

きれいなお花ありがとうございました。

○豊田文智会員

11月23日結婚記念です。花束をいただきありがとうございます

いました。

○安川隆会員

お陰様で結婚24年目を迎えることができました。これからも気合と根性で頑張ります。

○藤野宏治会員

12月13日、当社アパマンショップのオーナー様向けセミナーを開催いたします。正直不動産のモデルになったカリスマ営業マンの講演となります。興味のある方はぜひご来場ください。

本日卓話発表させていただきます。よろしくお願ひ致します。

◆出席報告 親睦出席委員会 藤田洋行会員

■例会アワー

国際奉仕・ロータリー財団委員会 藤野宏治委員長

◆卓話

「ロータリー財団について」

卓話者：藤野宏治委員長

国際奉仕・ロータリー財団委員会委員長



## スライド資料



ロータリー財団は、ポリオの根絶、疾病を予防するための安全な水の提供、難民への医療支援、平和の推進、母子のための安全な環境づくり、被災地域の復興など、数多くの活動を支えています。

財団をご支援くださる方々からの寛大なご寄付によって、世界中でこれらの活動を続け、さらに拡大していくことが可能となります。ご寄付は、ロータリー財団を通じて、持続可能なインパクトをもたらす奉仕プロジェクトへと生まれ変わります。

数十億ドルという財団への寄付が、「ポリオプラス」や「ロータリー平和フェローシップ」など、ロータリーの人道的目標を叶えるために役立てられています。

ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

1917年

#### アーチ・クランプが基金の設立を提案

「世界でよいことをする」ための基金の設置をアーチ・クランプ会長が提案しました。最初の寄付として、米国ミズーリ州カンザスシティのロータリー会員から26ドル50セントの寄付が寄せられました。



1928年

#### 「ロータリー財団」と命名

正式に「ロータリー財団」と命名され、管理委員会が創設されました。

1947年

**財団で初となるプログラムを創設**

国際理解の推進を目的として海外に留学する大学院生を支援するプログラムが開始されました。初期の奨学生は日本、ノルウェー、オーストラリア、米国からの留学生でした。

1965年

**マッチング・グラントを開始**

クラブと地区のプロジェクトに補助金を提供するロータリー財団初のプログラムとなりました。



1979年

**ロータリーがポリオの取り組みを開始**

初の「保健、飢餓追放、人間性尊重（3-H）補助金」が、フィリピンにおける600万人の子どもへのポリオワクチン購入のために授与されました。



1985年

#### 「ポリオプラス」プログラムを創設

「ポリオプラス」の「プラス」は当初、ポリオワクチン以外に投与されるほかのワクチンを指していました。この「プラス」はその後、ポリオ根絶活動を通じて築かれたインフラ、ファンドレイジング、アドボカシーの手法が、ほかの感染症対策にも活用されていることを示すようになりました。



1999年

#### ロータリー平和センタープログラムを創設

プログラムの目標は、平和構築と紛争予防・解決の分野で活躍するリーダーを育成するためのフェロースhip（奨学金）を提供することです。



2013年

#### 新しい種類の補助金を開始

長期的で大きなインパクトをもたらす補助金活動を奨励するため、地区補助金とグローバル補助金から成る簡略化された補助金制度が導入されました。



2019年

### 災害救援補助金を導入

自然災害の被災地を支援するために、災害救援補助金が創設されました。



2020年

### 大規模プログラム補助金を開始

金額の大きいこの補助金は、ロータリー会員が主導する、成果が実証されたプログラムの拡大を支援します。



### 財務の仕組み

ロータリー財団は、慈善のみを目的とする公益慈善団体として設立され、管理委員会によって管理されています。

ほぼすべての国で運営されているグローバルな団体として、ロータリーは財団の資金を大切に管理しています。財務の健全性および説明責任と透明性へのコミットメントにより、ロータリー財団は [Charity Navigator](#)（慈善団体の格付け機関）から最高評価（満点スコア）を受けています。



◆退会挨拶

大隅義一会員



◆点鐘

吉田和義会長

例会日：毎週水曜日 PM12:30～1:30

例会場：オークラアカデミアパークホテル TEL 0438-52-0111

事務局：木更津市朝日1丁目2-29 シグママンション朝日B棟105号

TEL 0438-25-0716 FAX 0438-25-0718

木更津東ロータリークラブ事務局メールアドレス

[eastkisarazu-rc@nifty.com](mailto:eastkisarazu-rc@nifty.com)